

いしかり 市議会だより

No.217

令和6年2月1日発行

発行:北海道石狩市議会 編集:議会広報特別委員会
TEL:0133-72-3181(直通) FAX:0133-75-2280
Eメール:gikai@city.ishikari.hokkaido.jp



石狩ソフトテニス連盟



こんなことが決まりました	2
一般質問	4
議会報告会を開催しました	14
委員会活動だより	16

令和6年能登半島地震で被災された皆様へのお見舞い

このたびの令和6年能登半島地震により、犠牲になられた方々・ご遺族の方々に謹んでお悔みを申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本市議会といたしましても、市部局と協力し被災地の一日も早い復旧・復興に向け支援してまいります。

石狩市議会

こんなことが決まりました



第4回定例会 (11月30日～12月20日)

傍聴者 50人

令和5年第4回定例会は、21日間の会期で開催され、補正予算、条例改正などを審議しました。

補正予算

令和5年度一般会計の主な補正

- 議会費 103万6千円
 - ・市議会運営費
- 総務費 3億1,188万3千円
 - ・地域情報通信基盤整備事業費
 - ・新モビリティサービス推進事業費 など
- 民生費 7億2,125万4千円
 - ・冬の生活支援一時金支給事業費
 - ・電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費 など
- 衛生費 256万5千円
 - ・先進不妊治療費助成事業費
 - ・野生動物対策事業費 など
- 労働費 7万1千円
 - ・就業サポート事業費
- 農林水産業費 7,788万1千円
 - ・その他農業振興対策事業費
 - ・畜産振興対策事業費

- 土木費 2,114万3千円
 - ・都市計画事務費
 - ・公営住宅改修事業費 など
- 教育費 7,211万5千円
 - ・教育委員会事務局運営費
 - ・学校教育活動体制整備事業費 など
- 職員費 6,104万3千円
 - ・職員住宅管理費
 - ・職員給与費

令和5年度国民健康保険事業特別会計の主な補正

- 総務費 101万6千円
 - ・一般管理事務職員人件費 など

令和5年度介護保険事業特別会計の主な補正

- 地域支援事業費 23万5千円
 - ・総合相談事業費

令和5年度介護サービス事業特別会計の主な補正

- サービス事業費 1,300万円
 - ・施設改修事業費

条例の一部改正

- 石狩市政治倫理条例の一部を改正する条例案
地方自治法の改正に伴い、議員個人による請負に関する規定の緩和等に対応するため所要の改正を行うものです。
- 石狩市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案
- 石狩市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案
- 石狩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案
令和5年8月の人事院勧告及び特別職の国家公務員の給与改定などを踏まえ、市議会議員、市長等の特別職、一般職の職員、会計年度任用職員の期末手当支給割合及び給与を改定するものです。
- 石狩市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案
公的個人認証法の改正により、マイナンバーカードに記録された利用者証明用電子証明書についてスマートフォンへの搭載が可能となったため、コンビニ交付で印鑑登録証明書を取得することができるよう、所要の改正を行うものです。
- 石狩市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案
令和5年10月2日に決定した札幌圏都市計画緑苑台ニュータウン地区地区計画の変更に伴い、所要の改正を行うものです。主な内容は、緑苑台ニュータウン地区に、新たな計画地区としてコミュニティ施設地区を加え、地区の目的に応じた施設の立地誘導を図るため、建築物の制限を定めようとするものです。
- 石狩市公共下水道事業に地方公営企業法の一部を適用する条例の一部を改正する条例案
個別排水処理施設整備事業への公営企業法適用に伴い、所要の改正を行うものです。主な内容は、個別排水処理施設整備事業特別会計を企業会計へ移行させ、公共下水道事業会計に統合し、会計名を石狩市下水道事業会計に変更し、その附則において石狩市特別会計条例及び個別排水処理施設整備事業安定化基金条例を廃止しようとするものです。

◆◆◆ 条例の一部改正 ◆◆◆

○石狩市公民館条例の一部を改正する条例案

老朽化した石狩市公民館樽川分館を、令和6年3月末をもって廃止するため、所要の改正を行うものです。

○石狩市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

地方税法施行令の改正に伴い、所要の改正を行うものです。主な内容は、国民健康保険税の産前産後期間の免除に併せ、課税限度額を総額で102万円から104万円に改定しようとするものです。

◆◆◆ 第4回定例会 議決結果 ◆◆◆

全会一致で決まったこと

- 令和5年度補正予算
 - ・石狩市一般会計補正予算(第8号)
 - ・石狩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
 - ・石狩市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
 - ・石狩市介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)
- 条例の一部改正
 - ・石狩市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案
 - ・石狩市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案
 - ・石狩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案
 - ・石狩市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案
 - ・石狩市公共下水道事業に地方公営企業法の一部を適用する条例の一部を改正する条例案
 - ・石狩市公民館条例の一部を改正する条例案
- その他
 - ・財産の無償譲渡の件
 - ・財産の減額譲渡の件
 - ・人権擁護委員推薦について意見を求める件(細谷准一、岩崎真理子)
 - ・市道路線認定の件
 - ・市道路線廃止の件
 - ・公園等に係る指定管理者の指定の件
- 令和4年度決算認定
 - ・石狩市国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定の件
 - ・石狩市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件
 - ・石狩市個別排水処理施設整備事業特別会計歳入歳出決算認定の件
 - ・石狩市水道事業会計決算認定の件
 - ・石狩市公共下水道事業会計決算認定の件
- 意見書
 - ・特別支援学校の過大過密解消及び特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書
 - ・国の責任で教職員未配置問題の改善を求める意見書
 - ・国の責任による少人数学級のさらなる前進を求める意見書
 - ・医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書
 - ・食品ロス削減のさらなる推進を求める意見書
 - ・認知症との共生社会の実現を求める意見書

会派の態度が分かれたもの

	石政	公明	共産	改革	無	採決結果
●令和5年度補正予算	○	○	○	○	×	可決
●条例の一部改正	○	○	○	○	×	可決
・石狩市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	×	○	×	可決
・石狩市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	○	○	×	○	○	可決
●令和4年度決算認定	○	○	×	○	×	可決
・石狩市一般会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	可決
・石狩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	可決
・石狩市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	可決
・石狩市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	可決
●意見書	○	○	—	○	○	可決

(石政:石政会所属議員8人 公明:公明党所属議員3人 共産:日本共産党所属議員3人 改革:改革市民会議所属議員3人 無:無所属議員1人)
 ※「—」は、採決時に退席したことを示します

一般質問

12月6日

日本共産党

やまざき さちこ
山崎 祥子



録画映像配信 ▶



中東和平実現に向け地方から発信を 全国市長会等と連帯し、取り組みを継続

イスラエルの大規模攻撃によりパレスチナ・ガザ地区の人道状況は、約1カ月で死傷者が1万5500人を超え、とりわけ子どもたちの犠牲が増え続ける中で、医薬品や食料、電力、燃料なども遮断され極めて深刻な危機に直面しています。国連総会は10月に緊急特別会合を開き、敵対行為の停止につながる即時かつ持続的

答 中東情勢については武力行使などにより罪のない多くの一般市民が犠牲となっており、また幾度となく紛争の悲惨さを経験し後世に伝えてきているはずでありながら世界中でいまだに紛争が絶えないことに憤りを感じております。人類

な人道的休戦を求める決議を採択しており、日本も戦争放棄を宣言し平和憲法を持つ国として一日でも早く和平が実現できるよう、関係各国に対し人道的休戦を強く働きかけるべきであり、イスラエルの国際法違反の蛮行に批判しない日本政府へ地方から声を上げていただきたいと考えますが、いかがですか。

共通の崇高な目標である世界の恒久平和の希求は当然のことと認識していますが、こと外交・防衛に関する議論は国においてなされるべきであると考えており、本市としては全国市長会や平和首長会議などと連帯した取り組みを続ける必要があると考えています。(市長)

皮膚科クリニックの閉院について 診療再開に向け情報収集等に努める

答 花川北にあった皮膚科診療所の閉院には市民から再開を求め、市も地域医療の課題として

連日患者であふれていた市内唯一の皮膚科クリニックが9月に閉院したため患者は札幌市などへ通院することになり、車を持っていない方々はタクシー

や公共交通機関の乗り継ぎで大変不便な状況になっていきますが、市として情報把握や対応を行っているか伺います。

めめる声が複数寄せられていることから、市も地域医療の課題として

ふらつとくらぶの今後の改善点について 現状を把握し職員増など必要な対応を検討

①昨年度の全国小中学校の不登校者数が29万9千余人と過去最多になる中、本市ではこうした子どもたちを対象に、教育支援センターふらつとくらぶが設置されていますが、通所する生徒が年々増加しており、今の教室数と広さでは狭くなること

が予測されるため今後どのような対応を考えているのか

答 ①ふらつとくらぶは現在、市教委が民間の建物を借り受け実施しており、部屋の使い方を工夫しながら2階にある3つのスペースの範囲で活動ができて

いると考えていますが、今後、通級希望者が継続的に増え、現状では対応が難しくなっていくと判断した場合には教室や活動スペースへの対応が必要になると認

認識しております。②現在の3人の職員体制では通級者数の増加に対応していくことが難しくなっています。③スポーツ活動に

ついては、①ふらつとくらぶは現在、市教委が民間の建物を借り受け実施しており、部屋の使い方を工夫しながら2階にある3つのスペースの範囲で活動ができて

その他の質問

- インフルエンザ予防接種 小児助成と帯状疱疹予防接種助成について
- 自転車用ヘルメットの購入費補助について

一般質問

12月6日

改革市民会議

かな や さとし

金谷 聡



録画映像配信 ▶



イベント周知にLINEの活用を

課題の整理解決等を図り配信を検討

10月にコープさつぽろいしかり店で第2回石狩版元氣ショップが開催され、障がいのある方が利用する施設等で作られた製品などの販売によって障がいの社会的自立や活動への理解推進に向け大変意義深いイベントとなりましたが、第1回に比べ来場者数が伸びていな

かったように見受けられ、原因は天候や場所のほか周知が十分ではなかったと推察されます。そこで、より多くの方に来ていただくために市が主催・後援するイベントの周知は市の公式LINEを通じて行う考えはないか伺います。

答 市では令和3年よりLINEを活用したプッシュ通知により断水などの災害や選挙の情報などを登録者全員に配信し、バスの運休やごみの収集などの必要な情報を希望者へセグメント配信しているところですが、イベントは配信側と受信側で情報のイメージが合致しない恐れがあることから

まずはこのコードをスマホなどで読み取るかLINE ID:@ishikari_cityで検索してお友だち登録を!



▲石狩市公式LINE

これまででは配信を見送っていましたが、市民が必要とする情報を受信できるよう引き続き、課題の解決を図り検討していきます。(企画経済部)

高齢者世帯等福祉除雪サービスについて 事業を見直し他制度等の活用も検討する

冬期間の生活路の確保を目的に市が実施している高齢者世帯等福祉除雪サービス事業は、近年除雪作業員の不足などによりこれまでの制度維持が困難な状況となり、今シーズン

から対象者の見直し等を行っているが、人材確保のため、障がいの者の就労支援施設などと連携し、持続可能な福祉除雪サービスの構築を図る考えはないか伺います。

答 本事業は昨シーズンに600超の世帯申し込みがあった一方、作業員が減少したため、当初は120余の世

帯に対してサービスの提供が困難な状況となり、除雪ができない部分は町内会からの作業員の紹介や地域ボランティア

市役所敷地内の改善必要箇所について 来客用駐車場等の事故防止対策に努める

市役所庁舎は市民や本市を訪れる人にとってはまちな顔となる代表的な施設ですが、建設から年数が経つにつれ対策が必要な箇所も目立ってきました。例えば、正面玄関前のタイルの

はがれや大きな水たまりができている駐車場等は冬の利用時に凍結している場合、転倒やスリップ事故も危惧されるため、早急に対応すべきと思います。が、市の考えを伺います。

答 築30年が経過した本庁舎は緊急性や安全面に配慮した改修を優先的に進めているところですが、来客用駐車場の水たまりや正面玄関のタイル破損、インターロッキング

のゆがみなどについては問題意識を持っており、市民にご不便をおかけしている状況から対策を講じていきたいと考えています。また、冬期間での敷地内の路面凍結は転倒事

アのほか石狩レッドフェニックスの選手による協力をいただき終了したところですが、ご提案の障がいの者の就労支援施設等との連携は施設側のバックアップ体制など課題もあることから施設と検討を深めていく必要があると考えています。また、本事業以外に市が実施可能と認めた団体によるふれあい雪かき運動も活用することができないか、今後検討していきたいと思えます。

(市長)

故や車両の接触事故を未然に防ぐための対策に最善を尽くすよう努めていきたいと思えます。

(総務部)

その他の質問

- ふれあいの杜子ども館前道路の安全対策について
- 指定管理者における職員の出遇改善について
- 子どもの自己肯定感向上の取り組みについて

一般質問

12月6日

石政会

ただしお
高田 静夫



録画映像配信 ▶



障がいのある子どもと家族の支援について 市内関係機関等の相談窓口を広く周知する

①障がいのある子どもには乳児期や就学期などライフステージに応じて保健や教育等の連携した支援を行うことが求められるため、児童福祉法に基づき専門的療育を実施する児童福祉施設の整備と機能強化を図る必要がありますが、本市では市民に分かりやすい相談窓口となっているのか伺います。

②障がい児の早期発見はもとより、保護者が単独で悩まない環境づくりも大切であり、家族同士の交流の場である子ども発達支援センターは現在どのような状況になっているか伺います。

③支援情報を集約するサポートブックの活用状況と周知方法を伺います。



▲石狩市地域自立支援協議会・療育部会が発行する「サポートブック」

答 ①発達に気づく機会となる1歳6カ月児健診と3歳児健診で発達相談を行っており、他市町村からの転入者には子育てガイドブックに相談場所を周知しているほか、母子保健情報にも相談窓口を掲載するなど広く周知を心がけています。②発達支援センターでは子ども

ものグループ療育中は待合室で過ごすことになっている保護者同士がその間交流できる環境があり、個別指導や療育では担当者等が常に寄り添う姿勢を持ちながら日ごろの悩みを聞くよう努めています。

③サポートブックは発達の心配や療育の必要があるお子さんを持つ保護者を対象に市内関係各所で配布し、特性や困り事などを書き留めることで福祉等の各機関へ情報を伝えるためのツールとして活用されており、今後も推進していきたいと思えます。(保健福祉部)

まち、ひと、しごと創生総合戦略について

目標を達成し着実に

成果を積み重ねている

答 総合戦略は5年間の経済活性化策の中で22年度は12指標のうち5指標で目標値を上回り、人口関連の3指標でも目標を達成するなど、市長の子

どもを育てやすいまちづくりの政策が浸透してきていると思っておりますが、市長の所見を伺います。

取り組んでいるものが子ども施策を含め全体の約90%となっていることから新しいひとや資金の流れを強化する持

石狩市沖の洋上風力発電事業の推進について 促進区域指定に向け 国や道と連携し取り組む

答 本事業は現在、法定協議会の事務局である国と道の関係所管が中心となり協議会の開催に向けて事前の調整を行っている段階と伺っているところですが、本市では事務局の動向を注視しつつ、協議会

石狩市沖の洋上風力発電は令和5年5月に有望な区域に整理され、今後は法定協議会で合意形成を図りながら促進区域の指定に向けて議論をしていくと思いますが、現在の進捗状況を伺います。

に参画が想定される関係者との情報共有を密に行い、国や道と連携し取り進めていきたいと思えます。(企画経済部)

続可能ないしかりの実現に着実に成果を積み重ねていると考えており、この成果を本市の未来の発展につなげていきたいと思えます。(市長)

その他の質問

●ロープウエー構想について

一般質問

12月6日

公明党

えん どう のり こ
遠藤 典子



録画映像配信 ▶



重点支援地方交付金の活用について 迅速な支援に向け早期予算化を目指す

① 今回の低所得世帯への支援は1世帯7万円となっており、安心して年末年始を迎えるために年内の実施を望みますが、支給時期と支給方法を伺います。

② 推奨事業の生活支援メニューは例えばLPガス使用世帯への補助など地域の実情に

合わせた対応が求められますが、実施内容を伺います。また、公共交通機関の事業者支援としてこれまで支給対象にならなかった介護タクシー事業者も含めるなどの検討を行う考えはありませんか。

答 ① 住民税非課税世帯等を対象とした7万円の給付金は現金による支給を考慮しており、今定例会最終日の追加提案を目指し準備を進めているところであり、現時点で具体的な時期や方法を示すことはできませんが、給付金が1日も早く手元に届くようスピード感を持って取り組みます。

② 推奨事業メニューは本交付金の主旨や限られた財源下で市民生活の状況や各団体からの要望、議会議論、緊急性や波及性などを総合的に勘案し道の対策も見定めながら実施事業を検討しており、必要な支援が速やかに行き渡るため今定例会での早期予算化を目指します。
(市長)

子宮頸がん撲滅への取り組みについて ワクチン接種の必要性や効果を周知啓発

① HPVワクチンはキャッチアップ接種の最終年度である令和6年度には高校1年生〜27歳相当の未接種者全員に対して最終期限の通知が必要と考えますが、いつどのような内容で実施するのか伺います。

② 専門医による講習会などの開催は対象者の不安を払拭し、接種

に関心を持つきっかけとなり周知啓発の役割を果たすと思いが、考えを伺います。

③ 自己採取した検体を郵送することで感染を判定できるHPV検査キットを希望者に無料配布する自治体もあり、本市でも受診率向上と早期発見・早期治療の一助として導入する考えはありませんか。

答 ① 6年度の個別通知ではキャッチアップ接種が年度末で終了する旨と併せて、無料で3回の接種を完了させるためには遅

くとも9月には1回目の接種を終えなければならぬ旨を重点的にお知らせしたいと思います。

② 講演会の開催は対象者に関心

障がい者と高齢者への交通支援券について 利用しやすい制度となるよう検討を進める

使い勝手の悪さから申請しない方も多かった障がい者福祉タクシー利用券と福祉利用割引券は、4月に利用状況や意向な

どを把握するためアンケートが実施されましたが、回収・抽出された利用者ニーズから見えてきた課題と改善点を伺います。

答 タクシー券の利用向上方法に関する設問では「複数枚使えるようになれば良い」「上手な使い方を知りたい」が回答上位を占めており、利用時の枚数制限の緩和や利

用方法の周知を希望されている状況が伺えることから、この結果を参考にして、タクシー利用を必要とする重度障がい者の外出支援の促進に努めていきたいと思えます。

を持っていただくことが肝要だと考えているため、他の自治体の取り組みを参考にしながら情報提供の手法についても検討を重ねていきます。

③ 自己採取法によるHPV検査は国立がん研究センターのガイドラインでも手法の一つとして考慮に値するとされていますが、適応年齢や用いる採取器具、陽性者への対応等が現時点で示されておらず、導入にはさらなる研究が必要とされていることから、市では今後も国の動向や先行自治体の導入事例を調査し、キットを周知していきたいと思えます。(保健福祉部)

また、福祉利用割引券の今後のあり方については66%の方が事業の拡大を希望し、そのうち9割の方が割引券の増額を望んでおり、制度の見直しについては高齢者の生活の質の向上につながる施策となるよう7年度の実施に向けて検討を進めているところです。(保健福祉部)

その他の質問

- 障害者手帳アプリ「ミライ
- ID」の活用推進について
- 皮膚科の誘致について

一般質問

12月6日

日本共産党

まつもと きくえ
松本 喜久枝



録画映像配信 ▶



市民生活を守る物価高騰対策などについて 給付金の迅速な支給を目指し取り進める

①今、物価高騰によって家計が冷え切った状況の中で冬本番を迎え、北国の住民にとって暖房なしで生活することは困難です。市民の命と暮らしを守るためにも福祉灯油事業の対象範囲を歳末助け合い義援金対象世帯と非課税世帯のひとり親家庭だけでなく、昨年同様に生活保護世帯や困窮する高齢

者世帯などへさらに対象を広げるよう求めますが、いかがですか。②7万円の重点支援地方交付金の給付も早期の実施を求めます。そのためには、春に行った非課税の高齢者世帯への給付金と同様に条件なくプッシュ型で市独自で給付を行う必要があると思いますが、市の考えを伺います。

答 ①冬の生活支援一時金支給事業(福祉灯油)は、住民税非課税世帯への給付金が昨年度と比べて増額された支給が今後予定されていることや、迅速な支給を目指し、すでに本事業の事務作業を進めていることなどを踏まえ、対象者のさらなる拡大は考えていません。②住民税非課

税世帯等への給付金は現在、支給の準備を進めており、その予算を今定例会最終日に追加提案できるようにスピード感を持って取り進めます。また、国は所得税・個人住民税の定額減税等の実施検討において扶養親族の人数に応じた支援を踏まえ、住民税が課税されている者の扶養親

族等のみの世帯を除くとしたことから確認書等で確認を行うということであり、市といたしましてはあくまでも、国の制度設計に

社会保障を安心の制度へ 実態把握に努め支援を検討

①高齢者の足の確保の問題で「福祉利用割引券」について市長は、対象年齢も含め広く検討していくと春の選挙の後で所信表明され、さらに代表質問でも答弁されており、市民からも拡充を期待する声を多く聞いています。②オンデマンド交通「いつモ」

を利用したくても予約申し込みでスマホを使いこなせない高齢者も多く、電話予約も可能なことの周知や、高齢者の集会場に出向いてアプリの操作方法を説明するなど市民が理解し、利用促進に向けた取り組みが必要です。また、利用したい高齢者の集まりへ出向いて説明することを検討できないか伺います。

答 ①福祉利用割引券の見直しは現在内部調整を行って

ジェンダー平等社会の実現に向けて 多様性を尊重する環境づくりを進める

パートナーシップ制度とは、同性婚が法的に認められていない日本で自治体が独自に結婚に相当する関係とする証明書を発行し、病院での家族と同様の扱いや公営住宅に家族と

して入居が可能になるなど、社会的配慮を受けやすくするため、北海道では7つの自治体が導入していますが、本市でも制度化を検討する考えはないか伺います。

答 本市では令和3年策定の第4次男女共同参画計画で初めて施策に多様性を尊重する環境づくりを追記しており、

基づいて行うものであります。(保健福祉部)

おり、令和6年度に準備を進め7年度実施に向けて早期に事業内容を示すことができるよう努めます。(保健福祉部)
②「いつモ」は9月の実証運行の再開時から石狩病院やセンターなど計4カ所にカスタマーセンターへの直通電話を設置し利便性の向上を図っているところで、今後は高齢者に分かりやすい資料の作成や高齢者が集う会場で説明を行うなど利用促進に努めます。(企画経済部)

まずは性的指向と性自認等に関する人権教育や意識啓発に取り組みながら、性的マイノリティーの方への理解を深めることに重点を置きたいと考えており、パートナーシップ制度は全国どの市町村に居住しているも当事者の権利が尊重されるべきことから、ジェンダー平等社会の実現に関し国や自治体の動向を注視していきたいと思います。(環境市民部)

一般質問

12月7日

改革市民会議

かた ひら かず よし
片平 一義



録画映像配信 ▶



札幌市とのごみの広域処理について

協議の進行に応じて

随時周知に努める

地球温暖化など環境問題が深刻さを増す中、国はごみ処理に伴うダイオキシン類の排出削減を主な目的として広域化の推進を求めており、本市は現

在、札幌市と協議を続け受け入れは可燃ごみと聞いていますが、実施に向けたスケジュールと市民周知の進め方について伺います。

答 本市と当別町で発生する可燃ごみの処理は覚書の締結後に事務レベルでの協議や情報交換を進めてきましたが、現在、札幌市は受け入れ予定の発寒清掃工場更新事業基本計画を、6年度末をめどに策定中で早ければ14年度稼働とされる同施設の規模や整備のスケジュールもこの計画で具体的に示されていくものと考えています。また、本市とし

ても収集運搬や中間処理施設などのあり方について調査検討を進め、広域処理は市民サービスに直結し関心も高いものと思われることから協議の進捗に応じて随時周知に努めていきたいと思えます。
(市長)

ふるさと納税のルール変更と対応について

発送や調達コスト等の見直しで

経費を縮減

創設から16年が経過したふるさと納税は豪華な返礼品で寄附を集める自治体が続出したことから10月1日より総務省はルールの見直しを行って

いますが、今回の制度改正に伴って必要となる取り組みや本市での経費の状況、今年度の寄附額の見直しについて伺います。

答 国は寄附金の募集に使える経費の算定基準を変更して

おり、当市でも約5%の経費縮減が必要となったことから、

本市の消防体制と救急対応について

車両や指令センターのシステムを更新

人口減少の進行と災害が複雑化する情勢下にあっても、消防機関には市民の安心安全を守り、信頼に的確に伝えていくために持続可能な体制の確立が不可欠であるほか、人員や車両などの限られた消防資源の

有効活用と業務の高度化・専門化が求められる中で、今年度は熱中症の救急搬送も多かったと聞いていますが、近年、特に増加し続ける救急事案について対応を伺います。

答 今年度は石狩消防署で高規格救急自動車を更新しており、コロナ禍や熱中症の影響も相まって令和5年1月から11月までの間の救急事案件数はすでに約3千件にものぼっており、これは過去最多となっ

た4年を上回るものと推計されています。また、10月には現場到着時間の短縮を図るため、指令センターのシステム更新を行ったほか、石狩振興局管内全ての119番通報を一元化し、業務の効率化と安定化

各種事務費用や発送コストの見直しを図るとともに、返礼品提供事業者の協力による調達コストの見直しや必要寄附金額の引き上げなどの対応を図ったところですが、今後も豊富で魅力ある石狩の返礼品の情報発信やPRに努め、前年度を上回る寄附額の確保を進めていきたいと思えます。
(財政部)

を目指す札幌圏消防通信指令業務の共同運用への移行に向け準備を進めていると伺っています。
(総務部)



▲石狩消防署

その他の質問

- 介護人材の確保について
- ひきこもりについて

一般質問

12月7日

石政会

やま だ とし ひと
山田 敏人



録画映像配信 ▶



令和6年度の予算編成について

市民生活向上や地域活性化を推進

① 新年度は本格的なポストコロナの経済社会へ向けた重要な予算編成になると承知しており、財政運営を行う上で事業の見直しや改革を進め、歳出を減らすことはもとより歳入を増やす努

力も欠かせないと考えますが、市税収入の見込みを伺います。
② 歳出削減の考え方や目標について伺います。
③ 新年度予算の重点分野の考えについて伺います。

答 ① 予算編成にあたっては総合戦略の施策推進や社会変容等への的確な対応を図ることとし、市税収入は国の地方財政収支の仮試算などを基

本としつつ近年の本市税収の堅調な伸びを考慮し、令和5年度当初予算対比で約5%増となる約96億円を見込んでいます。② 歳出は事業の必要性や効果の整理検証を進め、客観的なデータの分析に基づく事業構築や部局間連携、各

老朽化した町内会館の改築について

長寿命化対策を含め適切に対応する

花川北地区のわかば会館、白樺会館、紅葉山会館は築45年以上が経過しており、傷んだ箇所は緊急修繕などを行いつつながら現在に至っていますが、地域住

民の交流や災害時の一時避難所としての役割もあるため早期に会館の建て替え計画に着手すべきではありませんか。

答 本年度はわかば会館と白樺会館のトイレの温水洗浄便座

医療MaaS(マース)の導入について

先行自治体の実証事業等を調査研究

通院が困難な高齢者などの患者に看護師が医療機器を備えた車両で家を訪れ、医師が病院で遠隔診療する医療マースを網走市が来年度から道内で初めて実施するとの報道がありました。が、モビリティを取り

入れた医療対策は患者の負担軽減になり、医師も移動に要する時間を省くことができるため医療の効率が良い。また、リットが考えられます。本市でも導入する考えはないか伺います。



▲医療MaaS(マース)

答 オンライン診療は対面診療と比べて医療へのアクセスが向上する一方で得られる情報が少なく、なってしまう側面もあることを考慮し、原則として患者との直接的な関係がすでに存在するかかりつけ医が行うこととされていることから受診者が限定されるといった課題も

への変更など機能の向上を図ったところですが、3つの会館については築年数の経過で老朽化が進んでいることを認識しており、今後も地域における必要な機能を確保できるよう長寿命化対策を含め適切に対応していきたいと考えています。
(環境市民部)

あり、本市では先行して実証事業を行っている自治体事例などを参考に調査研究していきたいと思えます。
(保健福祉部)

その他の質問

- ふるさと納税について
- 災害対応について
- 洋上風力発電の推進について
- 福祉除雪ボランティアの担い手不足について
- 小中学校の休業日数について
- 医療大学の移転に伴う本市の影響について
- 信号機の設置について

一般質問

12月7日

公明党

やまもと ゆみこ

山本由美子



録画映像配信 ▶



糖尿病治療中断者への受診勧奨について 対象者に通知と訪問等を実施し再診を促す

①令和4年度の本市国民健康保険データヘルス計画の実施状況を見ると、糖尿病性腎症重症化予防事業として6カ月間の重症化予防プログラムを行ったことが分かりますが、この事業の評価を伺います。

②透析導入患者を減らすには糖尿病治療中断者に受診勧奨を行い、治療再開を促すことが重要ですが、本市での受診勧奨対象者の抽出基準、人数、方法を伺います。

答 ①本事業は設定評価指標として6年間で対象者の20%以上、1カ年換算で3.3%以上の指導実施率を目指していましたが4年度は1.7%で、目標を70%以上とした生活習慣改善率は100%、検査値改善率は60%となっていることから、次期計画ではプログラム終了後のフォローアップ体制を構築し、検査値改善を図りたいと考えています。②受診勧奨

対象者の抽出方法は前年度のレセプトに糖尿病の治療歴があり、年度末4カ月で医療機関での治療が確認できない方を治療中断者とし4年度該当者は4人で、勧奨方法は対象者に受診再開を促す通知を行い送付後3カ月経過後も受診が確認できない方に訪問等を実施しており、4年度は4人に勧奨を行い、うち2人が受診を再開しています。(保健福祉部)

国保データベースシステムで被保険者の過去5年分のレセプトデータを参照し、市が把握できる治療中断者に受診勧奨を行う考えはないか伺います。

不登校児童生徒の対策について

ふらっとくらぶの体制充実を検討

①現在、ふらっとくらぶには30人ほどの中学生が在籍していますが、小学校高学年の不登校児童も増えてきていることから今後どのような対策を考えているか伺います。②不登校児童生徒にとっても食育やスポーツなど皆で取り組む活動が必要不可欠だと思いますが、

こども未来館あいぽーとなど調理室やホールを使える施設の利用を検討する考えはありませんか。③不登校児童生徒の保護者は原因が自分にあるかもしれないと自身を責める傾向にあるため、子どもだけでなく親に対する支援も必要と考えますが、市の見解を伺います。

答 ①本施設への小学生の通級は相談・登録ともに少ない

状況ですが、小学生にふさわしい支援方法の確立など受け

制服リユースの仕組みづくりについて 市教委での取り組みは課題等から難しい

中学や高校の入学時には出費が多くなるため、子育て世代の経済的負担の軽減はもちろん循環型社会の形成と環境教

育の側面からも制服リユースの仕組みづくりに取り組むことは大事だと思いますが市の見解を伺います。

答 制服のリユースは市内の一部中学校でPTAが主体

となり行っていることを承知していますが、提供される数

再答弁 今後はこのデータに基づき、受診再開するまで勧奨に努めます。(保健福祉部)

入れの体制づくりを検討していきます。②活動のための施設利用には近隣に公共施設もあり、利用が可能かどうか管理者と協議し、事業を計画する際に子どもたちが使う上でより良い環境となるよう心がけていきます。③現在、市教委のスクールソーシャルワーカー等が保護者の悩みや不安に寄り添いながら面談を通じて必要な支援を行っており、今後は保護者同士の交流機会の創出も検討する必要がありますと考えています。(教育長)

や見合ったサイズの制服が少ないといった課題があるため、実施が一部の学校にとどまっているものと推察していることから、市教委が取り組むことや市教委が他の団体に働きかけを行うのは難しいと判断しています。(生涯学習部)

一般質問

12月7日

日本共産党

はちや たかうみ
蜂谷 高海



録画映像配信 ▶



風力発電に対する考え方について

法定協議会で議論を重ね取り進める

①平成29年度に行ったゾーニングの結果を重く受け止める必要があると考えますが、市長の見解を伺います。②一般海域での風力発電の運転は環境や漁業への影響について未知数とされる部分が多い中で

開発を今後どのように考えるか伺います。③浜益沖での国による浮体式洋上風力発電の商用化に向けた実証試験の計画について、市として把握している情報と見解を示してください。

答 ①ゾーニングエリアは環境アセスメント手続きの円滑化に資する情報提供を目的とするものです。②発電に係る影響は今後予定されている環境アセスメント手続きの中で事業者の責任において明らかにされるものと認識しており、漁業との共生は法定協議会で議論を重ねていくことになり、本市としては促進区域の指定に向け国や道と連携し取り進

めていきたいと考えています。③当該事業は浜益区の沖合8～9.5kmの海域に浮体式の風車を1～2基設置する計画で、浜益沖を含め全国で4区域が候補地として選定され、今年度中に国が2区域程度を選定する予定と承知しており、環境アセス手続きは道の条例に基づき配慮書段階で現在、縦覧に供されています。(副市長)

ヒグマなどの野生動物対策について

市民への被害防止を最優先に取り組み

答 7月末以降、浜益区でヒグマ目撃情報が多発する事態となり、市では市民の被害防止を最優先に市公式LINEや防災行政無線などさまざまな媒体を活用して迅速な注意喚起を図ったほか、警察と消防の協力をいただき夜間・閉

今年度はヒグマ出没が大きな問題となり、道や札幌市は方針転換や計画策定を進め対策に乗り出しております。本市でも市域に生息するヒグマ調査やゾーニング管理、出没したヒグマの対応行動指針の策定などを行い、ヒグマとどう共存していくか、同時に市民の生活と命をどう守っていくか基本となるものを作る必要があると考えますが、市の見解を伺います。

庁日も含めた出没地点周辺の警戒パトロールを行い、10月には猟友会、警察、消防と合同で開催したヒグマ対策会議で駆除の方針を確認後、同区内の林道に設置した箱わなでヒグマ1頭を駆除しましたが、今後も道の管理計画と出没

今年度の浜益区はヒグマ出没や雪虫の大量発生で子どもを外で遊ばせることができず、児童館も無いため自宅か友人宅で過ごすしかなく子どもの生育に好ましくない状況となっていることから、浜益コミュニティ

浜益区の子どもに公共センターの土日開放を 事前予約や大人同伴を前提に利用可能とする

センターきらりや群別スポーツセンターなど広いホールを持つ施設を子ども遊び場所として土曜と日曜に開放することが望ましいと考えますが、見解を伺います。

曜日・日曜の利用は両施設とも事前予約や大人が同伴であることを前提に安全で安心して過ごせる子ども遊び場として、また、健康増進に寄与する施設としてご利用いただければと思います。(浜益支所長)

答 浜益コミュニティセンター

や群別スポーツセンターの土

時の対応方針等に基づき市民への周知等のもとより、ヒグマの人里への出没抑制や問題個体の捕獲など必要な対策を講じていきます。(環境市民部)



その他の質問

●子ども発達支援センターの事業実施体制について

一般質問

12月7日

無所属
(「やさしい社会」をつくる市民の会)

くましろ ちかこ

神代 知花子



録画映像配信 ▶



子どもの権利条例と

市町村子ども計画について

「子どもまんなか社会」の

実現に向け全市的に推進

①今年7月に「石狩市子どもの権利条例検討委員会」が発足しました。検討議論のベースとなる石狩市の子どもを取り巻く現状課題の共有が十分になされていらないように思う。子ども施策に携わる各部署が、子どもの実情を知る内外の関係者からヒアリングを行うなど、条例策定にたくさんの方が関わ

る工夫ができないか伺います。
②子ども基本法の施行に伴い市町村子ども計画の策定に努めることが求められています

が、既存計画を含め何らかの変更が必要となるのか推進体制と併せて伺います。

③教育分野でもいじめや不登校の増加、ヤングケアラー、ブルック校則など子どもの権利の観点で取り組むべき課題が山積しています。学校現場にこそ「子どもの権利」に対する認識が浸透し、子どもたちへの取り組みを進めてほしいと願っています。市ではこれら課題をどのように認識し対応していくのか考えを伺います。

が、条例案の作成推進には全市的な検討が必要であるため福祉や教育部局等の職員で構成する市内検討部会を立ち上げ横断的に検討を進めていきます。また、両区の子育て家庭等の課題は各支所で地域の声の把握に努めており、情報共有と連携を図り子ども施策を推進していきます。

②次期の子どもビジョンは市町村子ども計画と他の子ども施策計画を一体化した計画として全市的に推進し、子ども・子育て会議で進捗状況の管理と評価を実施していきたいと考えています。また、子どもの権利条例に関連する計画は子どもビジョンに包含して推進していく方向で検討しています。(副市長)

②学校現場では道徳教科での人権に関する授業や小学校で実施している民間団体による子どもへの暴力防止プログラムで学ぶ機会があり、校則の見直しは子どもが主体的に参加する機会づくりなどがすでに行われていますが、市教委では子ども基本法等を踏まえ

今後も学校での子どもの権利尊重について教育的意義を意

①権利の主体である子どもたちが条例の策定にどれだけ関わられるかは非常に重要であるためワークショップはどのように取り組まれどんな意見を聴くことができたか伺います。また、子どもの意見表明を担保するにはどのような前提条件と仕組みが重要と考えているか伺います。

②子どもの権利擁護システム

再答弁

①子どもからは自分の思いを自由に表現したいなどの意見が出されており、ワークショップの結果は毎回ニュースレターを作成し市ホームページで公表しています。また今後予定している子育て家庭や若者へのアンケートも検討委員会での議論につなげていきたいと思えます。また、子どもの意見表明には大人が聞く姿勢を持つこと、子ども自身力がつけることが前提と考えますが、発達段階や障害の有無によって意見表明できない子どもを支援する仕組みも必要と考えます。

識し施策の展開に努めていきます。(生涯学習部)

には意見の形成と表明への支援(アドボカシー)が必要で、それを担う主体として子ども相談センターや教育委員会がありますが、言語化が難しい子どものSOSをどのように受け止めて意見表明を支援していきますか。また、個別の権利救済を担う主体の必要性について市の考えを伺います。

②言語化が難しい子どもにはスクールソーシャルワーカーなど専門知識を持つ職員が支援にあたり、個別の事案は障がい者相談支援事業所や主任児童委員等が情報を共有し連携しながら対応していきます。子どもの権利侵害があった場合の救済制度は検討委員会では手法を議論している段階ですが、市では救済の仕組みを設ける必要があると認識しています。(副市長)

その他の質問

●厚田のマイクログリッドについて

答 ①条例の検討にあたり今年度はワークショップ等の

開催で市民からの意見を伺うことを中心に進めてきました

第16回 議会報告会を開催しました

日時・実施会場

10月27日(金) 望来コミセン「みなくる」、浜益コミセン「きらり」
10月28日(土) 花川南コミセン、花川北コミセン



2日間にわたり開催された議会報告会ではたくさんの声をいただきました。回答を求められた質問については会場でお答えし、それ以外のご意見として承りました。地域からのご要望については、各委員会で取り組んでまいります。

また、今後、二度とこのような事件が起きないように、ハラスメント撲滅条例の策定も含め、議会ハラスメント問題等調査特別委員会を立ち上げて取り組んでまいります。

この場に掲載できる文字数に限りがありますので、詳細は市HPをご覧ください。報告書をご覧ください。報告書は市役所、厚田支所、浜益支所のほか今回会場となった4カ所の各コミセンにも用意しております。

■元市議会議員が強制わいせつ容疑で書類送検されたことを受け、今回の議会報告会は、事件とハラスメント防止について市民の声を伺いました。

Q1 事件の詳細が知りたい。議会はどこまで把握しているのか？

A1 議会としても報道の範囲しか把握していません。

Q2 起訴の有無で議長の対応が変わるのか？

A2 被害者に誠意をもって謝罪するということに変わりはありません。

Q3 議長、会派会長が元議員から事前に相談を受けながら出馬させたのはおかしいのでは？

A3 事件の相談はなく、報告を受けていました。その後、本人の意思で出馬したため、問題は解決したと認識していました。

Q4 議長と会派会長の責任はどう考えているのか？

A4 議長、会派会長は議員個人の管理をしているわけではなく、議員個人の問題です。

Q5 事件についての検討会を開いたのか？

A5 市議会議員全員を集め、本事件について議論しました。

Q6 ハラスメント撲滅条例を策定する場合、対象者は議員だけなのか？

A6 委員会を作り、対象者や内容を含め精査していきます。

Q7 ハラスメント撲滅条例はHPや広報紙だけではなく広く市民に知らせるべきでは？

A7 策定に向けての中間報告も含め、市民に伝わるよう考えていきます。

Q8 ハラスメント撲滅条例を作ることは納得できない。

A8 条例制定で本事件についての解決にはなりません。今後このような事件を起こさぬよう条例制定を議論していきます。

Q9 以前から市議会議員の問題があるが、議会としてどのように考えているのか？

A9 今後、事件や問題が起きぬよう襟を正し、再発防止のための条例制定を議論してまいります。

Q10 補欠選挙が行われない理由は？

A10 公職選挙法の期日、要件に該当しないため補欠選挙は行われません。

Q11 議会ではハラスメント研修を行っていたのか？

A11 この事件とは関係なく、令和5年7月に議員を対象にハラスメント研修会を行いました。

Q12 新人議員の教育をしっかりとしてほしい。

A12 実施してまいります。

◆◆◆ 議会ハラスメント問題等調査特別委員会を設置しました(令和5年12月20日設置) ◆◆◆

ハラスメント問題等を調査するため、特別委員会を設置しました。

委員長 日下部勝義

副委員長 阿部裕美子

委員 山本由美子、蜂谷高海、山崎祥子、神代知花子、上村賢、金谷聡、山本健司、山田敏人

■そのほか寄せられたご要望・ご意見(会場別)

望来コミセン「みなくる」

- Q1** 必要な広報については高齢者にも分かりやすい方法を考えてほしい。
A1 広報紙面だけでなく、他の方法も検討してまいります。
- Q2** 太陽光発電パネルがボロボロになり破損が放置されている。
A2 民間事業者に対し適切な対応を求めるよう部局へ伝えます。
- Q3** 望来の山の上、産廃場の計画がなくなり、開いたままの穴を埋めてほしい。
A3 地域の声に耳を傾けてまいります。
- Q4** 3年後、厚田・浜益地域自治区がなくなることについて、住所名を含め知りたい。
A4 まだ最終的に決まっておりません。地域協議会にて意見を伺いながら検討を進めます。



浜益コミセン「きらり」

- Q1** 防災無線が聞き取れないので、防災ラジオ端末の配布を実現してほしい。
A1 総務常任委員会の所管事務調査として取り組んでまいります。
- Q2** 浜益診療所の入院機能と夜間診療体制を維持してほしい。
A2 総務常任委員会の所管事務調査として取り組んでまいります。
- Q3** 学校だけでなく、浜益支所や高齢者施設にもクーラーを設置してほしい。
A3 予算の確保を含めて検討してまいります。
- Q4** 浜益区がなくなっても支所機能を縮小しないでほしい。
A4 ご意見として承りました。



花川北コミセン

- Q1** 洋上風力発電について市は賛成ですか？
A1 議会の中では賛否もありますが、市長をはじめ行政は推進しております。
- Q2** 洋上風力の固定資産税は市の税収につながりますか？
A2 洋上での線引きは国、道が行うもので、現段階ではまだ決まっておりません。
- Q3** 歩道、通学路や車が見えづらいなどの除雪問題の対応を考えてほしい。
A3 ご意見として伺いました。
- Q4** 学童保育待機児童問題について、若い世代のために頑張してほしい。
A4 ご意見として伺いました。



花川南コミセン

- Q1** 図書館で予約が混み合い、新着図書を借りることができない。また花川南分館は椅子が少ない。
A1 大変貴重なご意見として伺い、取り組んでいきたい。
- Q2** 新幹線残土について市民に情報がほしい。
A2 判別ヤードを石狩湾新港地区内に設けています。北海道の管轄の西部地区で住所は小樽です。石狩中学校の裏の残土は民間の所有で、石狩市は環境基本条例を設けています。(空気も含め)水質汚染など何かあれば石狩市が調べなければならない立場です。
- Q3** 福祉除雪の要件が厳しい、もっと柔軟な対応をしてほしい。
A3 シルバー人材センターと札幌の勤労者企業組合の2社にお願いしていますが、希望者が急増し100名以上もあふれました。そのため今年度より利用者の要件を改訂しましたが、介護認定されていない場合でもご相談いただければ対応してもらえます。
- Q4** 風力発電について、ネイチャーポジティブとの共存をどうするか。
A4 陸域と海域で30%保全できるエリアを増やすことが全世界の流れです。風力発電とどのように両立していくかが課題です。



委員会活動だより

各委員会が10月～12月に審査した議案などをお知らせします。

総務常任委員会

防災、総合計画、農林漁業、新港企業、観光、予算、市税などを審議します。

○主な調査項目

- ・オンデマンド交通の実証運行について
- ・予定価格が130万円を超える工事の発注状況について(令和5年6月1日～11月30日まで)
- ・所管事務調査*(浜益国民健康保険診療所の体制変更案について、防災行政無線の聞きづらさ解消に向けて)

厚生常任委員会

環境、ごみ・リサイクル、町内会、子育て、高齢者・障がい者福祉などを審議します。

○主な調査項目

- ・家庭ごみ収集日の変更について
- ・石狩市障がい者福祉計画の改定について
- ・石狩市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画(素案)について
- ・所管事務調査*(子ども食堂の現状と課題について)

建設文教常任委員会

道路維持、公園、公営住宅、除雪、上下水道、学校関係、図書館などを審議します。

○主な調査項目

- ・令和5年度全国学力・学習状況調査結果報告～石狩市における結果の概要～
- ・令和4年度いじめ・不登校の状況について
- ・令和5年度除排雪事業について
- ・石狩市学校給食センター運営委員会への諮問について
- ・石狩西部広域水道企業団に係る基本協定書の一部改定について

議会運営委員会

第4回定例会までに届けられた10の意見書について、本会議提案が7、審議未了が2、保留が1、という結果になりました。

※意見書については、議会運営委員会で審議し本会議で議決します

※審議未了とは、議会の会議に付託された議案等の案件が当該会期中に決着せず、継続審査の決定もされずに会期を終えるに至った場合のことです

※所管事務調査:各委員会が自主的にその委員会が所管する事務について行う調査のこと

定例会開催予定

次回の第1回石狩市議会定例会は2月22日(木)から開催を予定しています。

表紙の団体 石狩ソフトテニス連盟

創立45周年。大会運営メインで活動中。参加者が魅力を感じられるよう大会ごとに試行錯誤しています(テニス用品のほか地場産品を賞品とする、ペアをくじ引きで決めるなど)。参加者含め和気あいあいとした雰囲気の魅力です。

問合せ 事務局 岩脇さん ☎ishikari_sta@yahoo.co.jp

議会広報特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員長	委員長
山崎	山本	山本	鈴木	青山	金谷
祥子	由美子	健司	圭一	祐司	聡

また、石狩灯台が現存する北海道最古の灯台であるという歴史もあります。明治時代の石狩川河口部の交通量の増加を見込んで建てられたようで、何回か修繕を繰り返した今の灯台になったということです。石狩の歴史に興味のある方は「いしかり砂丘の風資料館」にお立ち寄りください。

編集の窓

暮らしている町の歴史や文化に目を向けると意外な発見をすることがあります。石狩市が日本で初めて缶詰工場ができた町ということをご存じでしょうか。明治10年10月10日に北海道開拓使により、日本ではじめての西洋式の缶詰工場が開設されました。原料は鮭や鹿肉、牡蠣なども缶詰にしていたようで、主に欧米に輸出されていたといわれています。欧米では紅鮭が原料だったため、石狩川でとれる白鮭を赤くする加工がうまくいかず苦労したようでしたが、味は上々の評価だったようです。

☆市議会だよりをご覧くださいありがとうございます。皆さまのご意見、ご感想をぜひお聞かせください。

石狩市議会の会議録をご覧ください

2次元コードから石狩市議会定例会と臨時会の会議録が閲覧できます。または市役所ホームページから右側の石狩市議会をクリックし、会議録検索をクリック!



ERIS 議会の情報は「えりす いしかりネット テレビ」でもご覧いただけます!

